

**フレッシュマン・オカザキのインド通信**

## インド民間最大手企業CEO

お世話になっております！私は今、インド・チェンナイ国際空港にて帰国のフライトを待ちながらメルマガ執筆中です。周りを見渡すと、インドに来させてもらうようになった2～3年前と比べて日本・中国・韓国人の数が5～6倍に増えているように思います。当社の協力工場があるチェンナイは、近年主要な生産拠点として日産、ヤマハを始めとする日系企業はもちろん、ヒュンダイ等の中韓企業の進出も盛んです。

ますます注目を集めるインドですが、海外企業の参入だけでなくインド国内企業の躍進も負けてはおりません！

## インド民間最大手企業CEO

### 傘下の通信会社に私財を投じ激安4G通信サービスを開始

インド民間企業最大手の複合企業、

リライアンス・インダストリーズの

CEOムケシュ・アンバニ氏が、

自身の資産を投入してインドに激安の

4G通信サービスを開始しました。



↑ムケシュ・アンバニ氏

これまでインドでは、無料で利用できる公共の Wi-Fi スポットはほとんどなく、農村部ではインターネットインフラが整わない状態で、インターネットにアクセスできるのは都市部に住む人のみで、国民全体の 5 人に 1 人に限られていました。アンバニ氏はこの状況を打破すべく自らの資産を投入して、リライアンス・Jio ネットワークという 4G の高速無線通信を激安で提供することで、インド全土に一気にインターネット通信網を築こうとしています。

リライアンス・Jio は、すでにインドの 80% の地域で 4G 無線通信を構築し、2016 年 9 月 5 日から Jio ネットワークをスタートさせており、2016 年内については何んとモバイル通信を無料で解放するとのこと。2017 年以降も月額 149ルピー (約230円) という激安価格で提供する予定です。



アンバニ氏はそれだけでは飽き足らず、「通話に料金を払う時代は過ぎ去った」とし、2017 年内には国内通話料を無料にすることを発表しました。

そしてこれは、通話料金を顧客に課しているライバル各社にとっては当然大打撃となります。インドの携帯電話市場首位のバーティ・エアテルは、無線通信事業において収益の約 70% を通話料金から得ており、顧客流出を防ぐために、データプランを 67% 値下げして対抗。4G 通信サービスも開始しました。市場 2 位と英ボーダフォン・グループのインド部門と 3 位アイデア・セルラーもデータ通信料金の同等の値下げを行いました。この 3 社合計の

モバイルユーザー数は同国全体のおよそ60%を占めています。

これは大革命と言っても過言ではないでしょう。

皆さんは携帯電話料金に毎月いくらほど支払いされていますか？どんなに携帯を使わないという方でも230円という事はありませんよね。（因みに私は30～40倍程度です・・・）

アンバニ氏はインド全土におけるデジタル・通信の未来を予見しています。

「デジタル化できるあらゆるものが今後次々とデジタル化されるでしょう。それも指数関数的な速度で、です」と述べ、リライアンス・Jioネットワークはすでに1万8000都市、20万の村をモバイル通信網をカバーしており、2017年3月までに人口カバー率90%を達成する目標だとのこと。

インドではこれまでもGoogleがインド中の駅舎に無料のWi-Fiサービスを提供したり、Facebookが無料版のサービスをインドのみで提供するなど、10億人の巨大市場にインターネットサービスを普及させる試みを行ってきました。そしてこのリライアンス・Jioの価格破壊とも言える攻勢によって、インドのインターネットサービスは劇的に変化すると考えられ、今後、インドがIT大国としての存在感をますます高めることが予想できますね。

余談ですが、世界長者番付のトップ10に名を連ねるアンバニ氏は、地上高170mの豪邸を所有しています。アンバニ氏のぶっ飛び具合がうかがい知れる建物となっています・・・。

↓こ、これが自宅・・・??



**ここからは採れたてホヤホヤの最新情報を3本お届けします！**

## **・カルタカタ州税制改革**

先月のメルマガにも掲載させていただいた、カルタカタ州政府の税率引き上げについて最新情報です。何の前触れもなく通知された本改革は各関係者から猛反発を受けていますが今に至る（執筆時 9/30）も改善要求は通っておらず、多くの原石に影響でています。**影響を受ける主な原石は：アーバングレー、MD-8、カリーナブルー、ロイヤルフラウン、カラハリ、銀河系、MU、M-6、M-13等。**

そして、実は弊社も大きな被害を受けております。。中国へ送る新しい原石がこの税率引き上げにより、出荷できない状況となっております。近々皆様

に大々的にご紹介しようと思っていたのですが…。早期解決を祈るばかりです・・・。

大筋の見方としては、現状誰も原石を動かさないような状況が続き、逆に税収ダウンとなっているので、政府は遅かれ早かれ圧力に屈するものとの見方が多勢です。しかしカルナタカ州政府は現在、戒厳令まで発令するはめになった、タミルナド州との水戦争の解決を優先している為、時期的なものは読めません。全インド石材業界の猛反発を無視して施行することも十分に考えられます。。やれやれ非常に頭の痛くなる問題です…。また最新情報入り次第追ってご報告致します。

また、前回お伝えしておりますが、上記の影響を受ける石種の中でご用命のものがあればスラフ材での出荷で対応可能ですので、詳しくは弊社担当営業員までお問い合わせください！

## ・インド加工新規取り扱い石種

今回の出張で取り扱いが決まりました、インド加工の新石種をご紹介します！

### 【GJ-GREEN】

目合いは細かく、緑色が非常に強い石です。M-1H緑手と似ていますが、さらに緑色が強い傾向にあります。単価は現在交渉中ですが、本丁場の石と比べて安くできるのではないかと考えております。

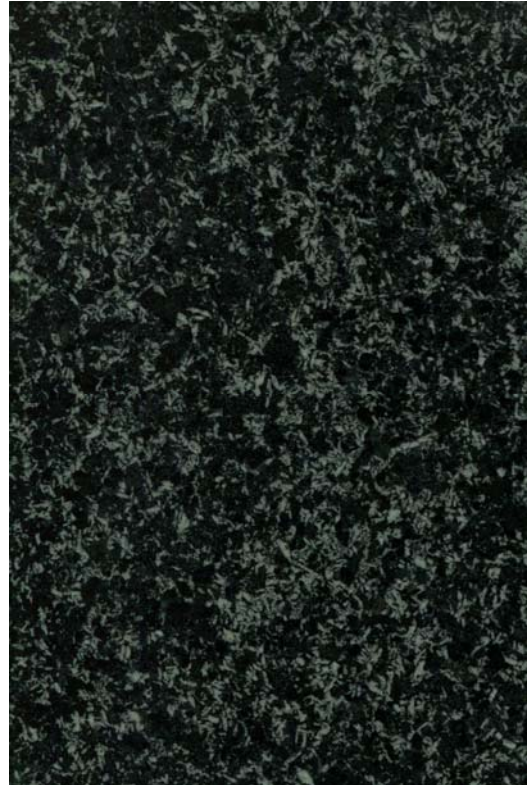
また、弊社協力工場ではもう一種類M-1HRという石を扱っております。

M-1H緑手を粗くしたような目合いと格安の単価が特徴です。こちらもお勧めです！

↓GJ GREEN



↓M-1H R



## 【Y-1】

本丁場の石ではありませんが、違いがほとんどわからないほどY-1と似ています。下地が茶色いのが特徴で、個人的な意見ですが本丁場の石より優しい印象です。以前取引していた工場でも取り扱っていた石種で、一部のお客様にとっても人気がありました。こちらも単価交渉中ですが、以前よりも



安くご提供できる見込みです

**2つの新石種、現在サンプル手配中ですので、ご用命の方はご連絡下さい！**

**それでは今月はこの辺で失礼いたします。**

**最後まで読んで下さり、有難う御座いました！**

2016/10/1 オカザキ